

A1665 205系・量産先行車 京葉線 基本6両セット

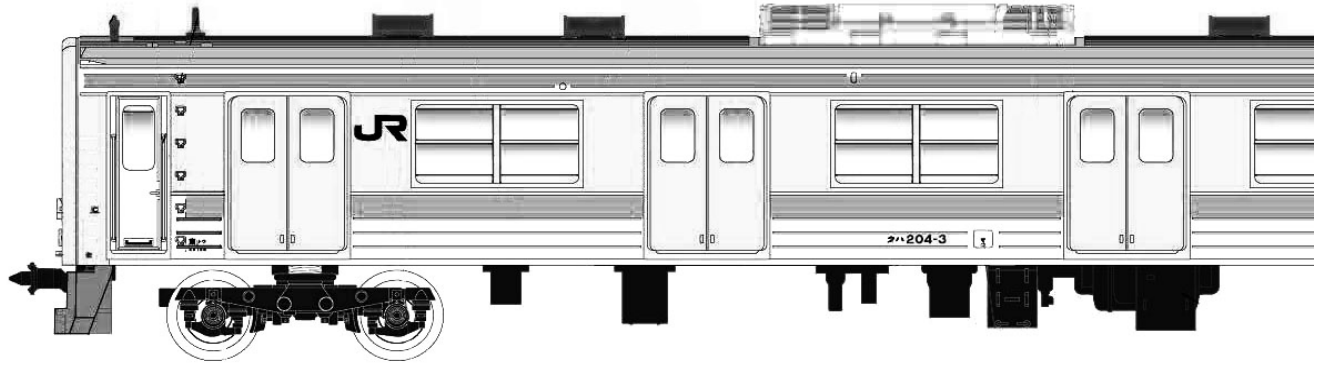
予価:17,500円(税別)

JANコード:116098 カートン内入数:12

A1666 205系・量産先行車 京葉線 増結4両セット

予価:10,000円(税別)

JANコード:116104 カートン内入数:12



商品形態	Nゲージ塗装済完成品 (素材:ABS樹脂製 対象年齢:8歳以上 ブックケース入り)																				
実車	<p>205系は201系に代わる製造コストが安い高性能通勤型電車として、1985年3月に登場しました。国鉄初の本格的なステンレス車で、車体の徹底的な軽量化が図られているのが特徴です。量産先行車の40両は2段窓で登場しましたが、以降は1段下降窓となりました。山手線、横浜線、埼京線、相模線、南武線、鶴見線、八高線、京葉線、武蔵野線、仙石線、東海道・山陽緩行線、阪和線等に投入されています。2002年より山手線にE231系が投入され、先頭車改造(1000・3000番台)、半自動扉化(3000番台)やVVVF改造(5000番台)を伴う大規模な転配が行われました。A1662(基本セット)・A1663(増結セット)は京葉車両センター(千ヶ岳)のケヨ26番編成を再現する製品です。この編成は元々東京総合車両センター(東トウ)に所属していたトウ3番編成で山手線で使用されていましたが、2005年4月に引退・転属しました。</p>																				
商品概要	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロエース電車シリーズの更なる充実。 ・205系量産先行車を、待望のプラ製初製品化。 ・量産先行車の特徴である側面ユニットサッシをリアルに再現。 ・赤紫色帯の京葉線時代を再現するセット。 ・モハ204MG撤去車、先頭車ATS-P付床下機器を忠実に再現。 ・号車番号・弱冷房車表示印刷済。 ・ヘッドライト、テールライト点灯。LED採用。 ・フライホイール付き新型動力ユニットを採用。 ・黒染車輪採用。 ・A1665, A1666両セットを組み合わせる事で10両フル編成が再現出来ます。 ・編成 <div style="text-align: center;"> <p>←東京 蘇我→</p> <p>1号車 2号車 3号車 4号車 5号車 6号車 7号車 8号車 9号車 10号車</p> <p style="margin-left: 100px;">◇</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>クハ 204-3</td> <td>モハ 204-9</td> <td>モハ 205-9</td> <td>サハ 205-6</td> <td>モハ 204-8</td> <td>モハ 205-8</td> <td>サハ 205-5</td> <td>モハ 204-7</td> <td>モハ 205-7</td> <td>クハ 205-3</td> </tr> <tr> <td>基本6</td> <td>増結4</td> <td>増結4</td> <td>増結4</td> <td>基本6</td> <td>基本6</td> <td>増結4</td> <td>基本6</td> <td>基本6</td> <td>基本6</td> </tr> </table> <p>←ライト モーター ライト</p> </div>	クハ 204-3	モハ 204-9	モハ 205-9	サハ 205-6	モハ 204-8	モハ 205-8	サハ 205-5	モハ 204-7	モハ 205-7	クハ 205-3	基本6	増結4	増結4	増結4	基本6	基本6	増結4	基本6	基本6	基本6
クハ 204-3	モハ 204-9	モハ 205-9	サハ 205-6	モハ 204-8	モハ 205-8	サハ 205-5	モハ 204-7	モハ 205-7	クハ 205-3												
基本6	増結4	増結4	増結4	基本6	基本6	増結4	基本6	基本6	基本6												
付属品	行先ステッカー1枚																				

